

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 19 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 1 日 作成

事務事業名		都市公園施設修繕事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連							
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	辻 賢一郎				
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	鍋田 将文				
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	都市計画班	(内線)	2247				
法令根拠		都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則											
予算科目	会計	1	款	8	項	4	目	2	事業連番	10137	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	2
												コスト削減優先度評価結果	8
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 s51 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)													
【事業の内容】 都市公園に設置する遊具、外灯等の修繕取替え等を行う。													
【業務の流れ】 現地確認・積算・業者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い													
【主な予算費目】 11-4施設修繕費													

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 各公園の遊具修繕、施設(水道・トイレ・照明灯等)修繕
 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 各公園の遊具修繕、施設(水道・トイレ・照明灯等)修繕

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等利用者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
 適正に管理できる
 安全快適に利用できる

④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)
 快適な住環境で暮らすことができる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア: 修繕公園数	箇所
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア: 全公園数	箇所
⑦ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア: 苦情・要望数	件
⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア: 公園整備率(市民一人あたり公園面積)	%
	イ: 苦情件数とその対応率(騒音、振動、煤煙、悪臭)	%

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 トータル コスト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	2,093	2,100	6,753	6,797	9,096	9,100		9,100
	うち指定経費		千円	2,093	2,100	6,753	6,797	9,096	9,100		9,100
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	4	4	4		4
		延べ業務時間	時間	250	400	400	570	550	550		550
(B)人件費計		千円	993	1,592	1,592	2,269	2,189	2,189	2,189		
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,086	3,692	8,345	9,066	11,285	11,289	11,289		
活動指標	箇所		10	20	40	40	40	40	40	目 標 計 画 22 年 度	
対象指標	箇所		137	142	147	148	151	154	157		
成果指標	件		5	5	5	11	5	5	5		
上位成果指標	%		10.4	11.3	11.4	11.3	11.4	11.4	11.4		
	%		100	100	100	100	100	100	100		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 公園に設置された施設については、年数の経過とともに老朽化や故障もあるので修繕をすることで維持をおこなっている

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 公園も設置から年数を経過しており対象となる施設は増加傾向である。いたずらも多い。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 何か修繕が必要な場合は、なるべくはやく対処してほしいとの意見があるが予算の都合もすべてに対処できていない。

事務事業名	都市公園施設修繕事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 適正に管理でき安全快適に利用できることにより、快適な住環境で暮らすことができるに結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 施設補修の一部をボランティア作業に委ねることは可能かもしれませんが、安全性を保つためには継続的に市が事業を行うことが必要である
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 施設を快適安全に利用してもらうために必要である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 限られた予算・人員で行っているが、手法の検討によりより成果を求めることも可能である
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 維持管理を休止すると公園が荒廃し事故の危険性もある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 公園の施設は特殊なものもあり専門業者との連携が必要である <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 公園数は増加しており、施設の老朽化も顕著であるため、事業費は増加傾向にある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 実用最小限の人件費である
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ ②有効性については、限られた予算・人員で行っているが、手法の検討により、より成果を求めることも可能である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)